

講義科目 : 医療福祉論	単位数 : 2
担当 : 武田 誠一	学習形態 : 選択科目 社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有

講義の内容・方法および到達目標

保健医療サービス、医療保険制度（診療報酬制度に関する内容を含む）を体系的に学び、保健・医療分野でのソーシャルワーカーの役割を理解する。

また、福祉サービス及びこれに関連する専門職の役割、多職種協働について理解することを目標とする。

授業計画

1	オリエンテーション 医療福祉とは何か	9	保健医療サービスの概要と機能分化
2	保健医療実践現場での ソーシャルワーク	10	在宅医療と地域医療連携
3	医療ソーシャルワークの具体的展開 「医療ソーシャルワーカー業務指 針」	11	保健医療サービスにおける 専門職の役割と実際
4	医療ソーシャルワークの対象者理解	12	医療ソーシャルワークの実践（事例 概要）
5	医療ソーシャルワークに必要な 医療保険の制度理解	13	医療ソーシャルワークの実践（具体 的支援）
6	医療ソーシャルワークに必要な 医療保険制度の活用	14	医療ソーシャルワークの実践（カン ファレンス）
7	医療ソーシャルワークに必要な 診療報酬制度の制度 理解	15	保健医療現場における ソーシャルワークを 展望する
8	医療ソーシャルワークに必要な 診療報酬制度の課題 把握		

教材・テキスト・参考文献等

未定（後日、掲示します）

参考文献等

『人は、永遠に輝く星になれない』山田宗樹、小学館文庫、2011年。

『医療ソーシャルワーカーの力- 患者と歩む専門職』村上須賀子（他）、日本医療ソーシャルワーク学会、2012。

『これがMSWの現場です- 医療ソーシャルワーカーの全仕事 心に寄り添う技術ケーススタディ40』菊地 かほる、医学通信社、2010。

成績評価方法

評価は、課題・提出物（30点）、ミニレポート（30点）、新聞レポート（40点）の配点で評価します。

実務経験

在宅介護支援センター、病院での実務経験に基づき、医療保健分野のソーシャルワークについて教授していきます。

その他

日ごろから医療保険制度・社会保障制度に関する報道などに関心を持っていると講義を理解する手助けになると思います。

***原則2年生を対象とします。**